

羅 針 盤			方 策		第１回 点検・評価			第２回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	１ 特色ある教育活動を行っていますか。	多くの選択科目を設定している教育課程に満足している生徒が７５％以上である。	○生徒の実態を踏まえ、学校設定教科・科目等を活用し、生徒が意欲的に取り組める教育課程を編成する。							
		習熟度別授業や少人数授業に満足している生徒が７５％以上である。	○生徒の「わかった」・「おもしろい」と思える授業を展開する。							
		自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、７０％以上である。	○友人関係や教師との信頼関係を作り、好ましい人間関係を育てる。							
		学習活動に主体的に取り組み、課題解決のための能力が得られていると評価している生徒が８０％以上である。	○各学年の係や担当者を中心に、教科を越えた学習の基盤となる資質・能力が身に付くような指導を行う。							
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	２ 生徒の実態に応じた授業を行っていますか。	生徒の５年後、１０年後を見据えた将来の人生設計について、話し合っている家庭が７０％以上である。	○キャリア教育について常日頃から情報提供をする。 ○生活手帳の活用を通してキャリアパスポートにつなげ「自己成長力」を養成する。							
		学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が７０％以上である。	○授業アンケートを活用し、生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を行う。							
		定期試験前や試験中の家庭学習時間が、１時間以上の生徒が６０％以上である。	○試験時間割の発表に合わせ、対策問題や学習計画の立て方など、生徒が計画的に取り組む環境を作る。							
	３ 適正な指導計画に基づいた授業展開がなされていますか。	授業の内容及びスピードが適切であると思っている生徒が７０％以上である。	○授業アンケートを活用し、生徒の実態に合わせた授業を実施する。							
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	４ 生徒は規則正しい学校生活を過ごしていますか。	学校全体で、適切な生活指導が行われていると感じている保護者・生徒は８０％以上である。	○全校集会や通知等だけでなく、全職員で日常的に規則正しい生活の大切さを声掛けしていくとともに、学習に専念する授業中の生徒指導を行う。							
		校則をきちんと理解している生徒が９０％以上である。	○あいさつと服装頭髪を整えることをはじめ、ＨＲや学年・全校集会等で規律を守ることの大切さ、集団生活でのルールやマナーについて呼びかける。							
		欠席、遅刻、早退が前年度比１０％減少している。	○ＨＲ指導、玄関指導等で時間を守って登校する大切さを生徒に意識させるとともに、家庭との連絡を密にし、担任と保護者の協力関係を構築する。							
	５ 学校生活での悩みを相談できていますか。	教員やスクールカウンセラー、友人に相談できと思っている生徒・保護者が８０％以上である。	○教育相談体制の確立と、二者面談週間や教育相談週間の充実を通して、相談しやすい雰囲気づくりを心がける。							
		学校全体でいじめの発生防止に努め、いじめの解消率が１００％である。	○様々な教育活動の中で生徒にいじめ防止について訴え、校内巡視等を通して生徒観察を行うとともに、面談・アンケート等を通して早期発見・解消を図る。							
	６ 充実した課外活動が行われていますか。	部・委員会活動等に参加している生徒が全体の７０％以上である。	○生徒会活動（生徒オリエンテーション・生徒総会等）を通して、部活動への参加や委員会活動の充実を呼びかける。							
	７ 組織的・継続的な指導を行っていますか	健康診断の結果を話し合っている家庭が７０％以上である。	○三者面談で治療勧告書を配付し、家庭で話し合うきっかけをつくる。							
		健康診断における要治療者の治療率が７０％以上である。	○１年生には入学説明会や入学式から、２・３年生には集会時や三者面談等を活用し、治療の必要性を訴える。受診勧告書も年に複数回配付し、受診を呼びかける。							
		清掃に積極的に取り組んでいる生徒が８０％以上である。	○個々の清掃活動や日々の行動について、日常生活の中で指導・助言する。 ○清掃用具を充実させ、大掃除においては重点項目を設定することで、清掃を積極に行える体制を整える。							
		校舎内外の清掃が行き届き、快適な学習環境にあると感じている生徒が７０％以上である。	○日々の清掃活動に加え、委員会でカーテン、流し等の清掃活動を行い、校内美化に努める。							

			○学校施設をきれいに使用するように、啓発活動に努める。						
		安全な学習環境にあると感じている生徒が８０％以上である。	○安全点検を月末報告だけでなく、日々の活動時にも行い、危険箇所の早期発見に努める。また、危険箇所の修理等も早急に行う。						
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	LHR等で実施している進路学習について、内容および回数が適切と感じている生徒が８０％以上である。	○担任団との連携を密にし、LHRにおける進路学習の充実を図る。 ○学年別進路ガイダンスを適切な時期に実施する。						
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が８０％以上である。	○総合学科推進部と連携し、生徒の自己教育力を育成し、進路実現につなげる。 ○社会人になるための心構え・マナー・モラルの指導を行う。						
		生徒の将来の志望についてよく話し合っている家庭が８０％以上である。		○就職や進学に関する情報を発信する。					
	10 適切な進路情報を適切な時期に提供していますか。	就職に関する情報の提供に満足している生徒が８０％以上である。	○夏季休業中の職場見学会を１人２社以上の実施を推進する。 ○ハローワークと連携し、就職ガイダンスを実施する。 ○進路相談の充実。 ○振り返り学習、学習支援による基礎学力の定着を図る。						
		進学に関する情報の提供に満足している生徒が８０％以上である。		○実力診断テストの計画・実施・事後指導をする。 ○進路ガイダンスの実施、進学情報揭示する。 ○振り返り学習、学習支援による基礎学力の定着を図る。 ○進学課外学習を充実させ学力を伸ばす。					
		学校からの進路に関する配布物に目を通してしている保護者が８０％以上である。		○各学年団へ適切な情報および資料をきめ細かく提供する。 ○保護者への情報提供を積極的に行う。					
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	学校の教育活動を理解してもらうため、「学校公開」を年間２回以上実施している。	○PTA総会や体験入学の機会に公開する。						
		ホームページの更新を月２回以上行っている。	○係から学校全体に呼びかけ、各学年や他の分掌、係と連携しながら情報を収集し充実させる。						
		暁高校だより定期的に配付している。	○学校の取り組みについて作成した暁高校たよりを回覧板に入れることで、地域の方に情報発信する。						
	12 PTA総会は有意義ですか。	PTA総会に、出席している保護者が５０％以上である。	○PTA会議等において役員と職員の協力体制を確立し、出席することの意義やメリットを広報していく。						
		PTA総会の内容が、充実していると感じている保護者が７０％以上である。	○文化部発表会や進路講演会等を取り入れ、魅力あるPTA総会についての検討を重ねる。						
	13 PTAの催す行事等の内容は、充実していますか。	学年対抗ソフトバレーボール大会の内容が、充実していると感じている保護者が７０％以上である。 PTA進路研修視察の内容が、充実していると感じている保護者が７０％以上である。 マラソン大会時の豚汁給食の内容が、充実していると感じている保護者が７０％以上である。	○大会実施方法を専門委員会を中心に考え、安全面に配慮した大会運営を実施する。 ○生徒の進路に結びつく研修視察をPTA専門委員会で検討し、実施する。 ○役割分担を明確にし、衛生面に配慮した豚汁作りおよび配膳をし、生徒に提供する。						
Ⅵ 教育のデジタル化に努めていますか。	14 ICTを活用した指導を行っていますか。	クロムブックを活用した授業を６０％の職員が実施している。	○一人一台端末を活用した授業を実施する。						
	15 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	生徒・保護者向けアンケートのデジタル化が８０％以上である。	○高校生活アンケートや授業アンケート、学校評価アンケートのデジタル化を図り、実施する。						
		ICT活用について職員研修を実施する。	○学事管理係担当者を中心に、クラスルームの活用方法等、ICTの活用について研修会を実施し、職員の理解を深める。						